

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 アルファグループ株式会社  
 コード番号 3322 URL <http://www.alpha-grp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 吉岡 伸一郎  
 (氏名) 松浦 孝暢

TEL 03-5469-7300

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	6,349	5.0	113	10.2	103	1.9	50	3.3
26年3月期第1四半期	6,048	10.4	102	△30.5	101	△30.8	49	△42.6

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 50百万円 (6.0%) 26年3月期第1四半期 48百万円 (△44.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	17.23	—
26年3月期第1四半期	16.71	16.70

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しています。これに伴い、前連結会計年度(平成26年3月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	8,702	2,971	34.1	1,004.00
26年3月期	10,585	2,965	28.0	1,001.77

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 2,971百万円 26年3月期 2,965百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,098	3.3	128	8.5	114	1.8	200	566.7	67.62
通期	27,990	△2.1	350	△21.3	305	△28.2	325	245.7	109.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	3,102,400 株	26年3月期	3,102,400 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	142,500 株	26年3月期	142,500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	2,959,900 株	26年3月期1Q	2,955,100 株

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しています。これに伴い、前連結会計年度(平成26年3月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 全般的概況

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)における我が国の経済は、政府の経済政策及び日本銀行による金融政策により、緩やかな景気の回復基調が継続しております。しかしながら、消費税増税に伴う物価の上昇、ガソリン価格の高騰や電気料金の値上がり等の影響から個人の消費マインドは低下傾向にあり、足元の経済環境は不透明なものとなっております。

このような経済情勢の中、当社グループは、モバイル事業、オフィスサプライ事業、IT事業、再生可能エネルギー事業においては販路拡大に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高63億49百万円(前年同四半期比5.0%増)、営業利益1億13百万円(前年同四半期比10.2%増)、経常利益1億3百万円(前年同四半期比1.9%増)となり、四半期純利益50百万円(前年同四半期比3.3%増)となりました。

## ② セグメント情報

## &lt;モバイル事業&gt;

モバイル事業におきましては、スマートフォンの急速な普及により、「1人1台」を超える成熟期を迎えたモバイル市場において、通信キャリア間の加入者獲得競争が激しさを増しております。また、モバイル業界の特性として、数年周期(割賦期間が2年、高機能携帯化など含む)で好・不調の波があり、かつ一昨年まで続いた販売促進施策などの影響(売れすぎた反動)により、モバイル市場が落ち込む中、当社においては「次の上昇に向けた波に乗るための舵取り」が必要となりました。そのような中、当社の販売網の基盤となる代理店への支援に注力すると共に、好立地への新たな出店など、積極的な投資をまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は33億12百万円(前年同四半期比23.9%減)、営業損失2百万円(前年同四半期は営業利益61百万円)となりました。

## &lt;オフィスサプライ事業&gt;

オフィスサプライ事業におきましては、引き続き販売管理費の適正化を進めると共に、当社保有のコールセンターの活用により、「カウネット」の新規顧客獲得と既存登録顧客への継続利用の促進、Webを活用した新たな顧客獲得手法の確立に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は15億60百万円(前年同四半期比1.5%減)、営業利益42百万円(前年同四半期比16.2%増)となりました。

## &lt;IT事業&gt;

IT事業におきましては、サービス領域の拡大を推し進め、リスティングやサイト制作による新規顧客の開拓・獲得に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は27百万円(前年同四半期比30.3%減)、営業利益7百万円(前年同四半期比18.8%減)となりました。

## &lt;水宅配事業&gt;

水宅配事業におきましては、水源となる地域での地震発生等の可能性を鑑み、平成24年8月より新規顧客の獲得を取りやめております。そのため本事業においては、既存のお客様がウォーターパックをご購入いただくことにより、継続収益が得られるビジネスモデルとなっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は67百万円(前年同四半期比20.5%減)、営業利益24百万円(前年同四半期比11.8%増)となりました。

## &lt;福祉事業&gt;

福祉事業におきましては、千葉県柏市にモデル校として教室を開き、介護職員初任者・実務者研修及び障がいを持つ学生に向けた放課後の塾(放課後等デイサービス)の運営を進めると共に、新たな教室の開校準備のためにノウハウの開発に注力いたしました。なお、本事業においては、平成26年7月1日にアルファディスカール(株)の福祉事業に係わる事業を会社分割し、当該会社の全株式をマネジメント・バイアウト方式により譲渡し、事業撤退いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は17百万円(前年同四半期比742.6%増)、営業損失22百万円(前年同四半期は営業損失16百万円)となりました。

<再生可能エネルギー事業>

再生可能エネルギー事業におきましては、引き続き、発電施設の建設用地確保及び転売スキームの確立に注力し、売電及び転売に向けた太陽光パネルの発注、整地（伐採、抜根、造成等）、架台組み立て等、完成に向けた準備を進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13億76百万円（前年同四半期は発生なし）、営業利益65百万円（前年同四半期は営業損失8百万円）となりました。

<その他事業>

その他事業におきましては、当社保有のコールセンターを活用したテレマーケティングの受託業務及び新たな事業を立ち上げるために、テストマーケティングを進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4百万円（前年同四半期比414.3%増）、営業損失0百万円（前年同四半期は営業利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は87億2百万円で、前連結会計年度末に比べ18億82百万円の減少となりました。主な減少は受取手形及び売掛金の減少13億57百万円、仕掛品の減少6億78百万円等であります。

負債は57億30百万円で、前連結会計年度末に比べ18億89百万円の減少となりました。主な減少は買掛金の減少9億72百万円、短期借入金の減少4億円等であります。

純資産は29億71百万円で、前連結会計年度末に比べ6百万円の増加となりました。主な増加は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加50百万円であり、主な減少は配当金の支払44百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当初予定していた範囲内で推移しており、現時点におきましては、平成26年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,052,746	2,045,847
受取手形及び売掛金	2,311,321	954,005
商品及び製品	911,488	873,935
仕掛品	1,299,336	620,391
原材料及び貯蔵品	5,807	343
その他	884,864	680,733
貸倒引当金	△11,312	△6,039
流動資産合計	7,454,251	5,169,216
固定資産		
有形固定資産	1,979,385	2,402,564
無形固定資産		
のれん	182,114	160,665
その他	100,480	94,808
無形固定資産合計	282,595	255,474
投資その他の資産		
差入保証金	704,999	713,570
その他	202,854	229,540
貸倒引当金	△39,063	△67,942
投資その他の資産合計	868,790	875,168
固定資産合計	3,130,771	3,533,207
資産合計	10,585,023	8,702,424
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,056,510	1,083,879
短期借入金	1,040,000	640,000
1年内返済予定の長期借入金	554,000	769,767
未払法人税等	114,892	30,095
その他	1,330,638	1,017,712
流動負債合計	5,096,040	3,541,455
固定負債		
長期借入金	2,291,298	1,930,426
役員退職慰労引当金	115,274	115,949
その他	117,266	142,863
固定負債合計	2,523,838	2,189,238
負債合計	7,619,878	5,730,693

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	528,728	528,728
資本剰余金	488,330	488,330
利益剰余金	2,198,849	2,205,435
自己株式	△250,763	△250,763
株主資本合計	2,965,144	2,971,730
純資産合計	2,965,144	2,971,730
負債純資産合計	10,585,023	8,702,424

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	6,048,173	6,349,950
売上原価	5,422,545	5,619,314
売上総利益	625,628	730,636
販売費及び一般管理費	522,720	617,276
営業利益	102,907	113,360
営業外収益		
受取利息	466	65
受取手数料	1,676	952
受取補償金	—	1,895
その他	382	651
営業外収益合計	2,525	3,565
営業外費用		
支払利息	3,081	13,136
その他	590	81
営業外費用合計	3,672	13,218
経常利益	101,761	103,707
特別損失		
固定資産除却損	3,249	—
特別損失合計	3,249	—
税金等調整前四半期純利益	98,511	103,707
法人税、住民税及び事業税	46,757	29,651
法人税等調整額	2,374	23,071
法人税等合計	49,132	52,723
少数株主損益調整前四半期純利益	49,379	50,984
四半期純利益	49,379	50,984



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	49,379	50,984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,295	—
その他の包括利益合計	△1,295	—
四半期包括利益	48,084	50,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,084	50,984

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント								調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	モバイル 事業	オフィス サプライ 事業	I T 事業	水宅配 事業	福祉事業	再生可能 エネルギー 事業	その他 事業	計		
売上高										
外部顧客 への売上 高	4,352,007	1,583,044	25,487	84,713	2,033	—	886	6,048,173	—	6,048,173
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	923	13,728	—	—	—	—	14,651	(14,651)	—
計	4,352,007	1,583,968	39,215	84,713	2,033	—	886	6,062,825	(14,651)	6,048,173
セグメント 利益 又は損失 (△)	61,461	36,507	8,644	21,463	△16,967	△8,498	297	102,907	—	102,907

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント								調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	モバイル 事業	オフィス サプライ 事業	I T 事業	水宅配 事業	福祉事業	再生可能 エネルギー 事業	その他 事業	計		
売上高										
外部顧客 への売上 高	3,312,699	1,558,901	12,702	67,371	17,130	1,376,584	4,561	6,349,950	—	6,349,950
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	1,618	14,618	—	—	—	—	16,236	(16,236)	—
計	3,312,699	1,560,520	27,320	67,371	17,130	1,376,584	4,561	6,366,187	(16,236)	6,349,950
セグメント 利益 又は損失 (△)	△2,116	42,432	7,016	24,005	△22,706	65,424	△694	113,360	—	113,360

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。